

2010年7月1日

各位

ティーエルロジコム株式会社

## 参議院・新議員会館の館内物流業務を開始 —宅配物やメール便などの共同集配で効率・安全・環境に貢献—

当社は、本日開館した参議院新議員会館（千代田区永田町）にデリバリーセンターを開設し、集荷・配送される宅配物などの一括管理と共同集配を行う館内物流業務を開始しましたのでお知らせいたします。これにより同館では、集配時間の短縮、館内の安全確保、混雑緩和による環境負荷低減などが図られます。



大規模なオフィスビルや複合ビル施設では、毎日膨大な数の宅配物などが届き、発送されます。このため、周辺の交通渋滞、荷捌き場の不足、違法駐車慢性化、エレベーターの混雑、施設内のセキュリティレベルの低下などさまざまな問題が発生します。これらを解決するのが館内物流です。ビル内物流や施設内物流とも呼ばれます。

館内物流を開始した新議員会館は、地下3階地上12階建て、延べ床面積約10万平米で、242室の議員事務室が設けられています。設計当初より参議院議員の活動拠点として相応しいセキュリティの確保や効率的な集配システムの構築が目標となっていました。



【参議院新議員会館の全景】

当社の業務内容は、宅配物やメール便などの議員室への配達・集荷、発送代行などです。要となるのは当社が開設・運営するデリバリーセンターで、各議員宛の宅配物などはすべて同センターで受け取り、警備会社による安全確認後に、当社スタッフが各議員室へ配達を行います。発送物はこの逆のルートを通ります。

館内物流は、部外者を入居者区域に立ち入らせないことでセキュリティを確保します。また、同センターが荷物を集約し共同集配することで集配効率が高まると同時に、館内や周辺の混雑が緩和されるため環境にもやさしい仕組みです。当業務は、当社の代表的な館内物流実績である渋谷マークシティ、大崎のThinkParkタワーに続くものとなります。

大型施設では、郵便や大手宅配業者からバイク便まで多種多様な業者が常時出入りし、搬出入を繰り返します。館内物流は単なる荷物の集約ではなく、いかに効率よく管理するかが重要です。当業務には荷物管理の情報システム、入場から退場までのルール、荷捌き場や搬出入動線、ドアの仕様に至るまで当社の豊富な館内物流ノウハウを投入いたしました。

当社は、国民から選ばれた代表者である参議院議員の活動が妨げられることなく、安全に効率良く行われるよう責任と誇りを持って日々業務に取り組んでまいります。また、ビル所有者、入居者、物流事業者、地域環境などに貢献できる館内物流の拡大に努めて参ります。

以上

## ■ご参考

### <ティーエルロジコム株式会社概要>

本 社：東京都墨田区太平4丁目1番3号 オリナスタワー11F

代 表 者：代表取締役 鎌田 正彦

設 立：1940年（昭和15年）

親 会 社：SBSホールディングス株式会社

資 本 金：28億46百万円 （2009年12月末現在）

売 上 高：358億円 （2009年12月末現在）

従業員数：1,357名 （2009年12月末現在）

事 業 所：関東を中心に東北、上海（中国）などに約70拠点を設置

関係会社：ティーエルトランスポートなど6社の子会社を展開

事業内容：70年以上にわたる物流の豊富な経験とノウハウを持つ東急ロジスティックが2006年1月にティーエルロジコムへ社名変更し、SBSグループの総合物流事業のコア会社として、3PL・センター物流・倉庫・流通加工・運輸・通運・国際物流・館内物流・施設移転・オフィス移転・引越などお客様のあらゆる物流ニーズを一貫したサービス体制でサポートしています。

U R L：<http://www.tl-logicom.co.jp>

## ■本件に関するお問い合わせ先

ティーエルロジコム株式会社

総務部 TEL:03-3829-2340

※当資料に掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。